

柿渋を塗った美濃和紙パロルで美濃加茂市を飾ろう

堂上蜂屋柿の新たな活路を目指して

平成29年10月21日(土)

美濃加茂市の特産品である「堂上蜂屋柿」。この栽培の重要なポイントである「枝一本に一個の実」の検証実験、そして、その摘果作業によって摘果した未熟果実を熟成して作る「柿渋」を活用した私たちのプロジェクト「**美濃加茂のWAプロジェクト**」について取り組んでいます。

これは、美濃加茂市の竹と柿渋を塗った美濃和紙を使用した「見た目は洋風・色は和風」の星形のランタン「**パロル**」を製作し、美濃加茂市を飾るという取り組みです。

このプロジェクトの一環として、地域の方を招いた**ワークショップ**を本校バイオ実験室にて行いました。



参加者は40名（この内、加茂農林高校食品科学科生徒・職員は11名、関高校生徒・職員は5名）でした。プロジェクトの中心メンバーである3年食品科学科ダルモマイケル君の母校、古井小学校の**ぞみ教室**・東中学校の**国際教室**からも参加があり、**多文化交流**も生まれました。

ワークショップに参加された地域の方からは、「若いエネルギーを頂けた」参加の主体となった中学生からは「色々な方との交流ができて、とても楽しかった」との感想が寄せられました。

(文責 **食品科学科** 教諭 山田 伸)